

研修報告 議会広報委員会

群馬県玉村町議会広報特別委員会・  
群馬県八ツ場ダム工事事務所を視察研修

去る7月21日(木)、22日(金)広報委員会は、第29回町村議会広報全国コンクール編集・デザイン部門において奨励賞を受賞した、群馬県佐波郡玉村町議会を視察研修をしてまいりました。

玉村町議会



玉村町・研修の様子

編集体制

◆委員数 6名

◆任期 2年

◆開催回数

1回の発行につき4回程度

発行状況

◆名称 たまむら「議会だより」

◆創刊 平成10年5月1日

◆発行回数 定例会ごとに年4回

◆発行部数 13,300部

◆配布対象 町内全戸・近隣自治体・官公庁等

◆発行経費 3,140,000円

(平成28年度予算)



議会だより

発行までの手順

①第1回委員会

定例会告示日(7日前)編集方針の決定、記載記事、ページ数、執筆担当者、原稿締切日・次回編集委員会開催日調整

②第2回委員会、第1回目校正

(前回未提出分を入稿)

③第3回委員会 第2回目校正

④再々校正 正副委員長・事務局

八ツ場ダム工事事務所

八ツ場ダム諸元

型式 重力式コンクリートダム

堤高 116m

堤長 約90万㎡

総貯水槽 1億750万㎡

流域面積 711.4km<sup>2</sup>



八ツ場ダム見学風景

今回、玉村町議会広報特別委員会を視察研修し、読んでもらえる広報誌を第一に議会の活動内容を町民が分かりやすく読みやすい文面に纏められた印象が強く感じられました。編集方法では、記事の校正やデザイン並びに写真を多く取り入れ文字のみにならないよう表現するなど編集内容の説明受け表紙の写真には、毎号、町内の名所等を採用し、親しみやすさが感じられ、担当委員の取材記事「みんなの広場」では、各地区の催物や趣味のクラブ活動を直接取材に向き身近な話題として紹介するコーナーを設け読者に興味を持ってもらえる記事が掲載されております。国土交通省関東地方整備局八ツ場ダム工事事務所は、工事の進捗状況に安全性が確保され、従来までの見学方法を見直し、一般者向け見学会が開催されています。今しか見られないダム工事を観光資源と捉え、道の駅八ツ場ふるさと館等と併せた観光振興への転換を目指し周辺道路も整備され、地域活性化のための事業にも取り組んでいる状況でした。最後に、既に地元の住民も代替地において新たな生活を送られていましたが、水没する住宅跡地等を見学し地元住民の苦渋の決断の上にあるものと痛感しました。